地域にはばたく市民パワー!

# ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙 2013年 5月号(第61号) 発行責任者 薄井 文子



## みんなで参加しよう! 5月31日 (金) いよいよ間催!

第2回ところざわ倶楽部文化祭が、5月31日(金)中央公民館ホールにおいて開催されます。 本年の文化祭は、演芸部門と展示部門の2本立てです。演芸部門には3サークル、2個人、3グループが出演いたします。また新しい試みである展示部門には30名以上の方からの出展がありました。出演、出展されるみなさんのご努力が、会員の方々に大きな感動と勇気を与えてくれることと思います。多くのみなさんのご出席をいただき、文化祭を盛り上げましょう。そして、楽しいところざわ倶楽部をみんなで作っていきましょう!

### 演芸部門プログラム

2013年5月31日(金)13時30分~16時

会場:中央公民館ホール

- 1. 民話語り「弘法の三つ井戸」…鈴木征子
- 2. 朗読「アンソニーとクレオパトラ」…「ラマティック・カンパニー
- 3. 能楽・仕舞「枕慈童」…絹川登美江
- 4. オカリナと鼻笛「春よ来い」他…岡本詔一郎・斎藤正武
- **5. コーラス**「エーデルワイス」他…楽悠クラブ有志
- 6. 和太鼓と踊り「炭坑節」「所沢音頭」…懐かしの映画・鑑賞会
- 7. バンド演奏「サンゴ礁の彼方」他…とことこバンド
- 8. 合唱「上を向いて歩こう他(理事・全員)

### ※ 詳細については別添のプログラムをご覧ください。

### 展示出展者

中央公民館ホール・ホワイエにおいて 午前11時より会員の皆さんの作品を展示

- ·**写真部門**:七戸健二、渡邉春夫、後藤光之、 橋爪良輔、岡田俊吾、長岡慶一、田中建夫、 志村喜八
- •油絵絵画部門:和田芙美子
- · **水彩画絵画部門**: 山本苗子、飯野秀康、 新井光子、志村喜八
- •押花部門: 小林登美子
- 陶芸部門: 岡本詔一郎、和田芙美子
- ・刺繍・パッチワーク部門 町田貴代美、高瀬浩衣
- ・木工・面打ち部門:志村喜八、多胡國男
- ・俳句部門:むさし野俳句会
- ・生花部門:佐藤美津子、柏成子
- 書道部門: 曽部康子

## 古典講座「旅に果てた俳聖 現代に生きる松尾芭蕉」開催!

事業部では倶楽部主催による初の古典講座を企画いたしました。 テーマは、今なお多くのファンを持ち、真の俳諧の道を求めた芭蕉を 取り上げました。俳句愛好者の聖典「奥の細道」を教材に、約5か月 にわたる奥羽、北陸、大垣までの芭蕉の魂の記録、旅日記にふれてみ ませんか? 多くの方の参加をお待ちしています。

積極的にお申し込みください!

事業部



◆講座略称:「現代に生きる芭蕉」

**◆講 師**:川上義正先生

(元高校教師 所沢在住)

### 講義内容

第1回:人生は旅―みちのくの憧憬

旅立ち--弥生のあけぼの

第2回:松島-雄島の磯 瑞巌寺

第3回:象潟―能因神社・ねぶの花

越後路―佐渡の夜空の天の川

第4回:敦賀―気比神社と遊行上人

種の浜―ますほの子貝

大垣―終着、そして新たなる旅路へ

※詳細は別添の資料ご覧ください

◆日 程:6月10日、6月17日、7月1日、

7月8日(毎回月曜日)

各日 13 時 30 分~15 時 30 分

◆場 所:所沢市生涯学習推進センター

2F 201 教室

◆募集人員:80名(会員50名 一般30名)

先着順となります

◆受講費:1000円

**◆主 催**: ところざわ倶楽部

協力サークル 葵の会

**◆申し込み先**:池田新八郎(TEL 04-2940-0711)

会員:各サークルごと理事が取りまとめてください。

個人: 往復はがきに「現代に生きる芭蕉」参加希望と明記し、住所・氏名・電話番号を明記の上、

下記住所へ郵送してください。

〒 359-1144 所沢市西所沢 1-24-22 池田新八郎

## 平成 25 年 4 月理事会報告

4月理事会は8日(月)に開催されました。

#### 1 会長事案

- (1) 副会長兼広報部長の高橋赳彦氏が事情で退任。 後任に池田新八郎氏が推薦され承認された。
- (2) 市民大学 20 期企画委員と当倶楽部理事との意 見交換会 3 月 11 日に開催、その概要報告
- (3) 地域の自然(4/13)、歴史を楽しむ会(4/19)など サークル訪問予定
- 2 総務部案件
  - (1) 「第6期会員名簿」配布、各理事サークル会員 に配布
  - (2) 住所、電話番号が記載された名簿は、会長、会計が保管
- 3 事業部案件
  - (1)5月31日開催の文化祭は展示部門、演芸部門それぞれの責任者、役割分担、時間配分などの説明

と確認。

総務部

- (2) 6~7月に、古典講座「旅に果てた俳聖、現代に 生きる芭蕉」を、川上義正氏を講師に4回シリー ズで開催。受講費1,000円
- (3) 7月「映画と講演会」予定 映画「私は2歳」
- 4 広報部案件
  - (1)「広場」4月号内容紹介
  - (2)「広場」5月号企画説明
  - (3) 市民大学の情報を「広場」掲載予定
- 5 その他
- (1) 理事役員会、理事会は、倶楽部の課題についても 議論すべき。

次回の理事会 は 5 月 13 日(月)10 時 新所沢東公 民館

詳細な理事会議事録は、ホームページに公開して

### サークル活動レポート

### 《公園を楽しむ会》

# 航空公園からカルチャーパーケヘ

田中 建夫

### 4月25日、森林浴とバーベキューで共に楽しむ!

昨年の「カルチャーパークでバーベキュー」は雨天で中止となり持ち越しになっていたのに、週間予報では今年もまた雨マーク!雨男は誰だ~!と自責する。

ところが、その心配をよそに当日の未明まで激しく降っていた雨も、朝にはすっかりあがり穏やかな晴天に一転、当日は実施が確実となった。今年の参加者たちのパワーはすごい!と感心した。

ところで「カルチャーパーク」って何なの?・・・



文化村かアグリカルチャー園か?車道の脇にある縦看板は見過ごしてしまいそうに小さく、市民のなかでも知っている人はどのくらいいるのでしょう。今のところは知名度がイマイチです。

日頃カルチャーパークの支援活動をしている「ふる さと公園応援隊」の平塚さんから説明があった。それ によれば、この公園の基本構想はなんと25年前で、 その後運動公園として計画されたもののオオタカの生 息確認により自然環境保全型公園に方向転換、8年前 から一部を使用しながら少しずつ整備を行っていて、 現在まで約74%の用地を取得しているとのこと。

同じく応援隊の深沢さんが現地を案内。樹林の小道 に一歩入るとまるで深山に分け入ったような錯覚になった。落葉樹林の若葉は茂り、陽に翳された葉は薄緑

に透きとおって葉脈までは っきり見える。足元の雑草の なかには木漏れ日のなかに 小さな花が咲いている。とき おり鶯の声も響き、まさに身 近に森林浴を満喫できる場 所と認識させられた。

参加者は23名。それぞれ の分担で持ち前の道具や材



料を持ち寄った。テーブルは4卓確保しコンロが3卓。 食材に疎い無骨な男2名が買出しを担当し、当日はス



計算機を弾きながら、片っ端から籠に入れては戻し又 入れて、どうにか30分で終了、会場に搬入し、待っ ていた女性陣がすばやく調理してくれた。

そもそも「バーベキュー」なるものは何でもいいから焼けばいいのであって、肉でも魚でも野菜でもひたすらひっくり返しながら、焼けたものからどんどん口に入れて、およそ焼肉のたれを使って味わうなんて余裕もなく、塩コショウを振っただけでも十分なものでした。

青空の下で新緑の自然林に囲まれて飲んだり食べたり りしゃべったりは格別で、それが大きな味付けです。

また、おからなったのれて会がある。これではいりますがある。これではいりますがある。これではいいますがある。これではいいますがある。これではいいますがある。これではいいますがある。これではいいますがある。



み、最後を飾った焼きそばは実に美味いものでした。 焼き物も終盤となり、渡邉さんのウクレレに合わせ て声自慢の男女合唱。しあわせなら手をたたこう!翼 をください!・・・など美声が響きました。

公園を楽しむ会としてはカルチャーパークのような 自然公園にこそ原点を見つけ今後の公園づくりに係わ りながら支援していきたいものです。

ただ、カルチャー (文化) とネイチャー (自然) では 違いますが。

### サークル活動レポート

### 舞浜倶楽部訪問記

### 《北欧の会》

# '老人の介護'を学ぶ!

4月12日、北欧の会会員ほか13名で浦安市にある 老人保健施設「舞浜倶楽部」を訪問した。

舞浜倶楽部は2003年に設立され、スウェーデン人のグスタフ・ストランデル氏を社長として迎え、スウェーデンの福祉理念とその手法を取り入れて介護付き有料老人ホーム、デイサービス・ショートステイ、在宅介護サービスなどを行っている。今回は福祉先進国スウェーデンの老人介護の実態を学ぶため、訪問を企画した。

施設に到着すると、入館時に先ず手洗いとうがいを し、ノロウィルス対策として手指の消毒をした後、大 教室に通された。訪問前に社長のストランデル氏は不



大教室で説明を受ける

在かてがに所説受こでとさい幸もか明けときた

同氏が舞浜倶楽部の経営に関わったのは、認知症患者に対する日本の介護は、患者を隔離する、監禁する、あるいは集団で介護しているなどの人格を軽視した介護がなされている実態をみて、個人の介護に重点を置き、認知症の緩和ケアーの必要性を強く感じたのがその動機であったとのことである。緩和ケアーの手法として、タクティールケアーとかブンネ法音楽ケアーを日常のケアーに取り入れ、更に舞浜倶楽部施設内にある大教室でJSCI(日本スウェーデン福祉研究所)シ



グスタフ・ストランデル氏の公演

を行っているとのことである。

有料老人ホームはユニット形式による介護を行って おり、日本の介護保険では患者3人に対し1人の介護 者が当たるとされているが、舞浜倶楽部では3人に対し2人で介護に当たり、重篤な患者には1対1の介護を行っているとの説明であった。さらに終末介護について、入所する際に入所者の考え、希望を徹底して話し合うとのことであった。

稲村 洋二

ストランデル氏による説明の後、佐藤施設長の案内で館内を見学した。館内はふんだんに木材を使用し、温かみを感じる内装になっていた。風呂は檜風呂で、手すりは一切なく、廊下から畳の部屋に入るのにわざわざ段差が設けてあるのには驚いた。これはノーマリゼーションの考え方に基づくもので、バリアフリーが必ずしも正しいとは限らないとの説明であった。

舞浜倶楽部は浦安市が地域密着型の施設として位置 づけており、館内に浦安市が委託している認知症専用 ディサービス「はじめ」と、ショートステイ用の小規 模多機能型施設「きはち」が入っており、舞浜倶楽部 の理念に基づいて介護がなされている。専用介護者は



グスタフ・ストランデル氏(後列左から3人目)と一緒に

12名で単独の経営では成り立たないが、舞浜倶楽部は有料老人ホームとの複合施設となっていて、複合施設と経営を統合することにより経営が成り立っているとのことである。市民がいつでも施設を訪問し、食事をしたり、談話をしたりする広いスペースとしてロビーに椅子と机が置いてあり、ホールはノーベル賞受賞者が食事をとった部屋を模したデザインで、普段はくつろぎのスペースとして使用しているが、入居者が亡くなった時にはお別れ会もそこで行うとのことである。私は日本の介護施設をよく知っている訳ではないが、舞浜倶楽部では施設のコンセプトを知り、そこでの介護の実践をみることにより、その緩和ケアーによって認知症患者の人格を最後まで尊ぶ姿勢を実感できた訪問であった。

エッセイ

# 「民話は祖先の贈り物」

鈴木 征子



民話を語る鈴木さん。 子供たち、老人ホーム等ボ ランティアで民話を語り 喜ばれている。俳句の先生 でもある。 市民大学14期。

### 所沢の民話「あっちいちいの新光寺」

所沢の民話『あっちぃちぃの新光寺』はあまりにも 矛盾だらけな話である。

「親切でお人好なお尚さん・・・。囲炉裏に入れてあった熱く焼いた石をぐっすり眠っている狸の股ぐらに放り込んだ!」話を覚えたのは十年前だが、この話をする度に(何処がお人好し? どうして石を焼いておいたの?) と、自問していた。

新光寺(宮本町)



俳句を趣味とする私は、暇があれば歳時記に目を通しているが、ある時偶然、「温石(おんじゃく)」という季語の説明を読んで、(はっ!)と閃いた。そして、お尚さんの投げた石は「温石」だと確信した。電気もストーブもない時代。しかも、お寺に独り暮らしのお尚さん。夜の寒さはさぞ身に応えたことであろう。囲炉裏に入れていた石は狸に投げるためではなく、お尚さんが夜寝るときにボロで包んで足を温める為だったのだ。そうと分かると謎が解け、不思議とその頃の暮らしぶりまで想像が出来た。火を焚かなければ暖房も煮炊きも出来なかった時代と現代では全てが違う。「話の辻褄が合わない」のは当然のことである。

### 「温石」で知る戦後の歴史

宮本町の新光寺は、すでに鎌倉時代以前からあった 寺だが、この民話が出来たであろう時代まで遡らずと も少なくとも終戦直後までは所沢でも「石を熱く焼い て体を温めていた」という。昭和四十年代に、この民 話を纏められた方は、お尚さんが囲炉裏に石を入れておいた理由をよく知っており、まさか「囲炉裏に入れていた石が何の為であったのか」を僅か三十年足らずでその訳が分からなくなるとは思ってもみなかったことであろう。それほど現代は暮らしの変化が加速していると思うのは考え過ぎだろうか。「雪が降っているのに・・・。もう明日迄しか灯油が無いんです・・・」日本中が為す術も無く、ただテレビの映像を見つめていたあの日・・・。私は新光寺の話を思い出した。「ライフラインが切断される」とは、日本に限なく電気が灯った、たかだか六、七十年以前の事ではないだろうか。それ迄は煮炊きに使う囲炉裏で暖を取り寒さが厳しければ焼いた石を襤褸で包み、洗ったあとの水も大事にしていた。

### 故郷の民話を後世に伝えよう!

民話は、祖先がどのように暮らしてきたか。或いは、 永い歴史をかけて進化してきた人間のその時々の暮し を伝える。「民話は、万一の時の生きる経験や知恵を教 えてくれる先祖からの遺産であり、次の世代へ伝えて 行かなければならないもの」であると思う。それは同 時に郷土を愛すことであり、時には心の拠り所にもな るだろう。私は改めて民話を語り継いでいこうと思っ たのである。また、語り伝えるばかりでなく、戦中戦



後を生き抜き、復興を第一線で支えてこられた方も多くは傘寿を過ぎておられる。「戦争は全ての人を不幸にする」と、近くて遠い体験者の声を後世に伝えることは、今を生きる我々の義務ではないだろうか。 それを収録出来るのは今をおいては無いのである。この度、ところざわ倶楽部の仲間が「民話の会」を立ち上げてくれた。大いに期待している。

## 市民大学は今

20期はグループワーク開始!21期は6月6日開校式! 14期から数えて8年目を迎える市民大学の現状は!

# 20期 いよいよグループワーク開始!

園田 靖彦(企画委員)

所沢市民大学第20期の2年次がいよいよ始まった。 4月9日にオリエンテーションが行なわれ、グループ ごとに別れ、グループリーダー、サブリーダー、その 他の役割を決め、10月の発表会を目指してグループワ ークに着手した。

20期のグループワークは7講座である。指導講師、人数(含企画委員)は、以下の通りとなった。

講座	指導講師	人数
	(敬称略)	(含企画委員)
日本の農業	淵野雄二郎	11
放射線の科学	丸山浩一	12
日本の芸能	羽田昶	12
所沢市史	渡辺隆喜	12
地方自治	廣瀬克哉	13
音楽	笠松泰洋	14
脳の科学	阿部和穗	15
合計人数		89

4月16日には、ほとんどのグループがご指導いただく先生を交えて、年間の研究テーマを何にするか話し

合即がたプ決かいたーまル何らたプリックである。マっーもながな



ど、いろいろある。テーマを早く決めることは勿論大切だが、何よりも自分は何を学びたいのか、自分たちの出来ることは何かを十二分に全員で話し合い、確認し、共有することが最も大事であろう。テーマがなかなか決まらず、いろいろ試行錯誤することこそ本当のグループワークであり、目指す学びではないかと思う。

# 21期の受講生の抽選会が開催される!

二上 拓夫(企画委員)

「めばえた好奇心、育てませんか!」をキャッチフレーズに募集を行いました。

4月25日(木)午前10時より生涯学習推進センター3階 301号教室にて、21期市民大学受講生の抽選会が厳粛な中で、21期受講生の運営をサポートする企画委員・代表者により行われました。応募総数159名は生涯学習推進センターでの最多の応募者であるとのこと、会場には、今回の応募者4名ほどが抽選を見守っておりました。当選者80名には6月6日の開校式に合わせ、早々にご連絡が発送されます。

21 期の講座を紹介いたします。継続講座としては「古典芸能」の近藤瑞男先生、「音楽」の藤田明先生、「食と農業」の淵野雄二郎先生、「地域の自然」の大堀聰先生、「メディアと社会」の藤田博司先生、「所沢の歴史」の門内政弘先生、「少子高齢社会の福祉」の渡辺裕子先生、特別講演「脳の科学」の阿部和穂先生があります。今年は更に加えて、新しく六人の先生にお願いする事なりました。その講座を紹介します。

#### ◆21 期新講座◆

文学	高橋敏夫(早稲田大学大学院教授)	経済小説第一人者 戦 後経済と格闘した「城山 三郎」の作品を学ぶ。
日本の 政治	成田憲彦(駿河台大学大学院教授)	民主党政権の失敗と現自 公政権。日本政治の構造 や歴史について。
美術	斎藤陽一 (美術 ジャーナリスト)	「モネ」を始め印象派 の画家について学ぶ。
環境とエ ネルギー資源	王青耀(埼玉大学 大学院准教授)	「NHK」の「ためして ガッテン」でも紹介。
日本の 教育	菊池栄治(早稲田 大学教授)	未来の世代を見すえた 教育改革について。
所沢宿の 歴史	三上博史(郷土史研究家)	江戸時代から現代まで の所沢の歩みを学習。

# サークル活動計画

### 興味のある活動に参加してみませんか?

### アジア研究会 (小椋雄二 2921-7739)

5 月定例会 22 日(水) 13 時 30 分~16 時 30 分 中央公民館8、9号学習室 DVD「バンコク、マレーシ ア・ジョホールからマラッカへ」観賞 6月定例会未定につき詳細後報

### 公園を楽しむ会 (渡部正俊 2921-3014)

5月23日(木):「清澄庭園と深川界隈の散策」

西武池袋線練馬駅 8 時 50 分集合

6月27日(木):みどりの森博物館散策

### 地域の自然を考える会 (前岳良子 2928-7334)

5月28日(火) トトロの森 12号地管理作業 10時~

### 地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117)

5月21日(火) 定例会 新所沢東公民館 15時~17時 各自勉強の発表と今後の活動計画話し合い

6月18日(火) 定例会の予定

※環境問題に興味のある方、ご自由に見学下さい。

#### 野老澤の歴史を楽しむ会 (戸田チイ子 2995-0133)

5月16日(木) 北野天神の「歴史と文化財」

小手指駅南口 10 時 40 分集合

6月6日(木) 武蔵野33観音⑩

飯能駅西武秩父行きホーム最後尾 9 時 30 分

### 懐かしの映画・鑑賞会 (二上拓夫 080-1250-6151)

5月14日(火)10時~12時30分

西新井町公民館

■「本日休診」(`52 年) 柳永二郎、淡島千景、三國連太郎

5月28日(火)10時~12時30分 西新井町公民館

■「戦場にかける橋」(`57 年) 早川雪洲・ 英米合作

### 北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993)

5月18日(土) 第40回例会

高齢者福祉について 舞浜倶楽部施設見学感想など

6月22日(土) 予定 第41回例会

場所 新所沢東公民館

#### 歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004)

5月11日(土)新河岸川遺跡散策、

所沢駅2F改札内8:45集合

5月24日(金)大井宿の散策、本川越駅改札外10:00集合 7月5日(金)飯能方面(計画中)

6月15日(土)武蔵野33観音巡り(所沢市内)

狭山ヶ丘駅改札出口8時45分集合

### 葵の会 (池田新八郎 2940-0711)

5月9日(木) 13:30~16:00 中央公民館 7号室 古典講座第4回「大国主命」

6月13日(木)13:30~16:00中央公民館5号室

古典講座第5回 「天孫降臨」(予定)

### 楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要)

5月15日(水)13:30~17:00 中央公民館 #8 · 9 映画「ミュージカル南太平洋」DVD 鑑賞 6月11日(火)13:00~17:00中央公民館#8・9 歌劇「ファウスト」(グノー作曲)DVD 鑑賞

### 地域の自然 (多胡國男 2993-6143)

5月11日(土)09:00~ 早大B地区 耕作地整備 5月25日(土)09:00~ 早大B地区 耕作地整備 5月26日(日)10:00~ サツマイモ植付イベント どなたでも参加できます。 早大 B 地区で実施

### 地域の祭り研究会 (加藤敏 2923-5263)

5月13日 幹事会 新所沢公民館

6月 未定

### 所沢の自然と農業 (清水仁- 2944-8835)

5月16日(木) 13:00~定例会 新所沢公民館 5 月下旬 くぬぎ山・駒が原の森現地調査 赤城山ハイキング(レンゲツツジ) 6月上旬

6月13日(木) 13:00~定例会 新所沢公民館

### ドラマティック・カンパニー (八木雅子 2995-0148)

5/18、5/25、6/1、6/15(土) 10:00~正午 ところざわ倶楽部文化祭で朗読発表する『アントニー とクレオパトラ』の練習を行うとともに、『トロイ アの女たち』を読み進めます。 会場: 新所沢東公民館

### 傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164)

5月20日(月)定例会、14時~新所沢東公民館 消防の出前講座。消防が「埼玉西部消防組合」になり ました。何がどう変わるのかを学びます。 広域化した事情、市民のメリット、市民の費用負担、 消防の借金など。ほか

### 民話の会 (仲山富夫 2948-9255)

5月24日(金)民話由来地めぐりと懇親会 西所沢駅 10 時集合~弘法の三つ井戸~新光寺 ~薬王寺~神明神社~航空公園で食事会 6月25日(金)第二回民話由来地めぐり

#### 歴史を楽しむ野老会 (居田治 2903-8400)

5月24日(金)所沢を歩く(2)小手指周辺の石橋供養塔 6月 休み

8月23日(金)座学、暑気払い(計画中)



### 【私の健康法】

### 《地域の自然を考える会》 飯泉 陽子

仕事を退職後(2年前に夫が亡くなり)そのことが きっかけで健康について考えるようになりました。

「自分の健康は自分で守らなければ」との思いで太極 拳を習い、市民大学にも入りました。

市民大学では色々な人と交流をし、刺激を受け、つな がりが出来ていきました。してみたいことを実践して いるうち、1ヵ月のスケジュールは家に居る日は週に 2日間を除き予定で埋まっています。

どんな事をしているのか紹介します。

\*太極拳、農場仲間15名での

野菜作り、コーラス

\*俳句会

\*所属サークルの定例会、歌舞伎鑑賞会、コンサート

最近では、歩くことを心がけております。旅行も大 好きです。どれもこれも楽しく毎日があっと言う間に 過ぎていきます。食生活も大切にしています。自分達 で作った野菜を使ってバランスの良い食事を心がけ ています。

自分の元気の元は食べることは勿論のこと、人との 交流を大切にしています。友達と語り合う事によって 気持ちが前向きになれて、健康につながっていると感 じています。

### 編集後記

先日、鈴木征子さんの民話を聞きに行った。十数人 が参加していたが、開演時間になったら私の肩をたた く人がいたので顔を上げると、絣の着物を着てモンペ をはいて、ひょっとこのお面をかぶった人がいた。び っくりしたが直ぐに鈴木さんであると分かった▼老人 ホームなどで、「民話を語ると必ず眠ってしまう人がい るのでいろいろ考えてこういう出方を考えました。今 日は皆さんを眠らせないように、楽しく民話を聞かせ ます」と話された。又、話を聞いていると、子供は子 供の話し方、男は男、女は女、武士は武士の話し方を 工夫して、何人もの役を声で使い分けていた。民話を 語るだけでなく、民話の作者が伝えたい知恵や教訓を かみ砕いて話されていたし、民話という短いフレーズ

聞きなしのかなはぬ今朝の囀れる 老眼鏡使い初むるや花は葉に 久遠寺 咲き満ちて球のごとくに八重桜 はらからの供花あふれをり入彼岸 ふりそそぐ光の中に蝌蚪(かと)の国 春雨の杮落(こけらおと)しも江戸の粋 浅葱幕振りておとせば花の山 雨や薬缶のたぎる作業小屋 段毎のすみれかな いとしくつまむ草の餅

中村 中嶋 高光 利根川

子の傘へ母の傘から春の 竹の秋湖北の寺の文学碑 春雨や甍つらなる京町家 **鮮の車優先土筆摘む** 雨

咲き満ちし花と団子と隅田川 露座仏の身を清めたる春の雨 「展西風」 ねはんにし) 弓手に数珠の青年僧

桑の芽や自然に帰り生き生きと

化冷えや屋台シートに包まれて





むさし野俳句会( 二十五年四月 )

岡本詔 海老澤愛之助

の中に、より多くの演出があり、工夫があり大変感動 した▼毎月第一金曜日に編集会議があるが、ここでい つも問題となるのが、記事を何処まで修正するのか、 修正が出来るのかである。"誤字"、"脱字"、"て、に、 を、は、の類"などを含めて、チェックするが、チェ ックした人の感性と経歴でかなり違ってくる。時には メールのやり取りでも激論になり喧嘩になることすら ある。兎に角、ところざわ倶楽部編集部は真面目な人 が多い▼記事を正しく修正する作業は、必要なことで あるが、如何に、筆者の意図に沿ったものにするか又、 このコミュニケーションを如何に上手に取るかが大切 である▼"広場"は発刊して既に6年目となるが、伝 える工夫、伝える力を信じて更なる努力が必要と思う。 鈴木さんのように! 加曽利 記